

平成23年度 第1回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成23年7月8日(金) 午後2時00分～午後4時00分
場所 花見川保健福祉センター3階大会議室
出席委員数 23名
欠席委員数 4名
事務局 10名
説明者 2名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 事務局職員紹介
- 4 議題 (1) 会議の公開について
(2) 委員長・副委員長の選任について
(3) 花見川区地域福祉計画の推進状況について
 - 1) 地区部会単位実施状況
 - 2) 推進に向けた補助事業について
- (4) 今後のスケジュールについて
(5) その他
- 5 閉会

【2】議事要旨

委員定数27名のうち、23名出席、4名欠席を確認し開会した。
配布資料の確認、委員紹介、事務局職員紹介を行った。

議題(1) 会議の公開について

事務局より会議の公開について説明があり、傍聴人の入室、会議録の作成、ホームページ及び推進協だよりへの掲載のため、写真撮影、録音を行うことについて、異議無く了承された。(傍聴人なし。)

議題(2) 委員長・副委員長の選任について

事務局より、委員長、副委員長が選出されるまでの間、花見川保健福祉センター所長が仮議長に就任することを提案し、了承された。

要綱において選出は「委員の互選」となっているので、推薦をお願いしたところ、以下の意見があった。

委員：事業の継続性を考え、前年度から引き続いて〇〇委員長、□□副委員長をお願いしたい。

委員：慣れた方をお願いしたい。

これらの意見をもとに、仮議長が〇〇委員を委員長、□□委員(当日は欠席)を副委員長として諮ったところ、賛成多数、異議無くこれを可決承認した。仮議長は仮議長の職を退き、委員長が就任挨拶を行った。

休憩 5分

議題（３）花見川区地域福祉計画の進捗状況について

１）地区部会単位実施状況

花見川保健福祉センター△△センター長より、地区部会単位での地域福祉活動への取り組み状況を確認したため、資料１に回答して欲しい旨を説明した。

<質疑応答>

委員：活動内容は全く記載しなくてよいのか。○をつけるだけでは具体的な内容がわからない。○の中身が見えてこない。

事務局：第１期計画と同様どのような項目に取り組んでいるかを確認したい。内容についてどういった項目が継続して行われているか、２回目、３回目以降に掘り下げていく予定であり、現在順調に実施されている項目について次回以降情報交換し、未実施のところを広げていきたいと考えている。

委員：○の中身を記入する欄がない。二度手間にならないか。

委員：私は現在地区部会の役員ではない。活動範囲は老人クラブ主体で動いているので、そういう形で書いてよいのか。タイトルを変えた方がよいのか。

事務局：幕張地区で活動されていると思うので、老人クラブで今やっていることで項目に該当するものがあれば書いていただければよい。

委員 長：その地区でやっているということがわかればよい。選別できる状態であれば、あとで地区部会単位でまとめる方法を考えればよい。

事務局：今までは花見川区全体でとらえていたが、それよりも地区部会単位の方がわかりやすいのではと考えた。１３地区に割り振り、該当しそうな地区部会に入れて集計する。地区部会主催かどうかではなくエリアだけを考えていただきたい。

委員：地区部会がない地区である。団体ごと、マンションごとに活動している。活動していても記載して欲しくないという団体がある場合はどうすればよいのか。

事務局：そのエリアで実施されているかどうかを知りたい。団体名は必要ない。

委員 長：やっている中身は全く書かなくて良いのか。

事務局：今回は○×だけで集計し、各地区部会でだいたいどのような状態かを見たい。集計したものを皆さんにお出しするので、うまくいっているところの情報について話し合えばよいのでは。

委員 長：昨年、おととの調査の内容を踏まえるべきでは。それが入っていないとよいのか。

委員：昨年細かく調べて一覧を作成したので、その一覧表に実施しているかどうか○×をつける方法の方が前回までの作業が無駄にならないのでは。

事務局：そこまで考えていなかったなので、この場で少し協議の時間をいただきたい。（協議）

事務局：先ほどの吉松委員の提案のとおり、１０６項目の取り組み状況の一覧をもとにして、８２項目に整理された項目について、前回の取り組み事業名を有効活用し、現在取り組まれているかどうかの調査票を作成し直して、後日郵送するので、その回答にご協力いただきたい。

委員：１０６項目の中からなくなったものについても回答するのか。

委員 長：事務局でもう一度項目を整理するので、みなさんに修正してもらいたいということである。

委員：要は現在自分の地区で行われている活動を、自分が関係する、しないに関わ

らず、チェックすればよいということか。

委員長：それでよい。

委員：タイトルが〇〇地区部会となっていると、地区部会としては答えやすいが、民生委員や老人クラブの方は自分の団体の単位で答えたいのでは。

委員：所属する団体名を書いて回答すればよい。

委員：同じ地域内で主催がどの団体であれ、やっているものをかけばよいということだろう。また昨年まとめたものがこの計画書になっている。これでよいのではないか。事務局は何をみてくれというのか。

事務局：具体的な事業名を82項目にまとめたものを送る。

委員長：皆さんの意見をおききしたので、調査票については、事務局ともう一度まとめ方を検討する。

委員：アンケートの目的を明確にして欲しい。なんのためにやるのか。出したらどうまとめてアウトプットするのかというところを。

委員長：単純に言えば、82項目の活動について、取り組まれているものとそうでないものをわかるようにする。その上で取り組みのないものはどうやればうまくいくか、どう横に広げていくか、重点項目をどうするか等の議論を行うことになるだろう。

委員：第1期計画で取り組んだ事業の確認を第2期計画策定の際に行っているのに、また同じような作業を行うのか。一年かけてまとめてその先どうなるのか。

委員長：今までのことが無駄になるわけではない。それほど難しい内容ではない。

委員：106項目を82項目に集約し、更新するというスタンスでよいのか。

事務局：はい。

2) 推進に向けた補助事業について

花見川保健福祉センター課長補佐・高齢支援係長より、資料2の3事業について説明した。

①地域支え合い体制づくり事業：スケジュール、事業目的、対象事業について。申請団体数の報告あり。(市内57団体、花見川区は12団体、内訳は地区部会4件、町内自治会とNPOが8件。)新たに事業を立ち上げる場合に対象となる。

②地域見守り活動団体への補助金：市単独事業。事業立ち上げる際の補助金。対象期間は3月31日まで、随時受付。補助金額は270万円。

③地域で育む花見川区づくり：申請期間は7月4日から8月3日まで。記載のない内容については区HPにて。

<質疑応答>

委員長：57団体の申請総額と花見川区内の申請金額の合計は。

事務局：市全体では1億4,500万円である。花見川区12団体の申請状況は、合計3,276万9千円である。精算状況により減る可能性がある。時間がない中で周知も徹底できなかったため、想定額より少ない金額なので、来年度以降も継続してもらえることを期待している。

委員：見守り活動の15万円のものは、新たに始める場合のみか。実際に活動しているところもある。

事務局：活動している団体は対象とならない。一から始める場合か、他団体と協力し

て拡充するために設備が必要となる場合などが対象である。また、この事業について6月15日に募集が終わっていると申し上げたが、県の基金(6億円)が設立されており、今回の申請状況で使いきらずに残れば、2次、3次募集の可能性もある。

委員長：これ以外にも、県の円卓会議千葉市全体で申請3件という状況である。いろいろな補助金の情報が急にでてきたと思われるだろうが、受け入れ側がしっかりしていないと申請すらできない状態となる。普段から何かあれば常に申請できるよう準備しておく必要がある。

委員：今までの補助金の考え方は単年度が多い。地域ではぐくむ花見川区づくりは3年を限度となっているが、どういうものか。

事務局：「同一事業における支援は3年が限度、毎年度申請が必要」としているので、基本的には単年度事業である。ただし、その事業が2年、3年と継続して支援した方がより効果があるということが審査会で判断されれば、次年度も申請があれば認められる可能性がある、その限度が3年ということである。また金額は事業規模に応じて補助対象になる項目があり、これに応じて上限20万円ということである。年間予算は100万円なので、全ての団体に上限額を補助すると年間5団体までというのが基準でなる。10万円ですむ場合などはその分が他団体にまわることになる。100万円の範囲内で20万円を基準に補助するということである。

議題(4) 今後のスケジュールについて

花見川保健福祉センター課長補佐より今年度のスケジュールについて、資料3により説明があった。年4回(7・9・11・次年度2月)の実施を予定、詳細はその都度連絡。

<質疑応答>なし

議題(5) その他

花見川保健福祉センター課長補佐

・第2期計画の広報について、第1期計画以上に周知をしたい旨と、その方法について説明。計画冊子は公共施設には閲覧用として配架し、自治会にはコピーにて1冊ずつ送付。出前講座に地域福祉計画についてのメニューを登録している旨を伝え、利用を促した。

千葉市役所防災対策課 ○○氏・□□氏

・市民局総合防災課がこの7月1日付をもって、総務局市長公室危機管理課と防災対策課となったことに伴う、各課の業務について説明。

・災害時要援護者の支援体制について説明。今年度7月に実施地区の選定を行う予定だったが未定なので決まり次第依頼したい。

※ 資料「地域で災害時要援護者の避難支援を」は最後に配付。

<質疑応答>

委員長：災害時要援護者の支援体制事業については各自治会に依頼するのか。

防災対策課：区地域振興課に依頼し、各区で4地区選定していただく。

委員：震災のときに自力で移動できない高齢者のいろいろな問題が出た。元気なお

年寄りのみでなく、独居で車椅子で高層に住んでいる方をどうするかなど、動けない方のことも含め、防災事業に取り組む際に考えていただきたい。

委員 長：検討項目から漏れないように市長に提言してやっていただきたい。

防災対策課：ご意見ありがとうございました。

委員：事務局に2点質問がある。今日初めて第2期花見川地域福祉計画が手元に届いたが、稲毛区の区役所では6月始めに公民館に渡っているということであった。前回第1期のときは出来上がった時点ですぐ我々に送付されてきた。どういう経緯でそうなったか説明して欲しい。また前回要約版があったと思うが、これは広報啓発のために便利なものであった。今回はあるのか、どういう計画でいつごろ作成する予定か、お聞きしたい。

事務局：まず配付の時期であるが、3月末に印刷を行い、震災の関係で遅れたが6月1日時点で公共施設には閲覧用として配架した。推進協議会開催の際にお配りする予定でいた。予算の関係上、郵送で送ることも厳しい状況であり、配付が遅れて申し訳なかった。

委員：私たちはこれによって自治会や所属団体で説明をしようと思っていたが、初めて今日手にした状況である。郵送代がないというのは解せない。推進協委員を軽んじているのでは。まず最初に我々に送るべきでは。

事務局：申し訳なかった。次回からは出来上がり次第すぐにお送りしたい。

委員：大いに反省して欲しい。

事務局：要約版については、リーフレットを作成中である。出来次第、自治会組単位に回覧できる単位で約4万部作成している。実際に周知に使うものだと思うので、出来次第速やかに配付したい。

委員：これが要約版ということか。

委員 長：先ほどの説明は冊子の白黒版を自治会に、それとは別に組み数分配るということである。

委員：担い手が書いてあるのに、担い手の長には少なくとも配付すべきでは。書いてあるだけで資料もいかないのはおかしいのではないか。

事務局：リーフレットの配付対象は自治会組単位と地区部会1部ずつ、ボランティア、地区の民生委員の協議会に1部である。

委員 長：冊子は地区部会と民生委員にしか渡っていない。担い手にも要約版でなく冊子を配付する方がよい。要約版は市の予算で、白黒版は区の予算で作成すればよいのでは。

事務局：区に予算はない。要約版は各区5,000部ずつ作る予定である。白黒版を作成するにはコピー代を捻出する必要がある。予算の状況をみて対応したい。

委員 長：この計画は取り組みをやらしてもらわなくてはならない。ただでさえ消極的な人が多いのに、その元になるものもなければ余計取り組めない。それくらいの支出は自治会だって出している。その程度のことは市でやるべきではないか。要約版はそもそも全貌がわからないし2期計画で変更しているのだから、流れを理解するためにはきちんとした資料がなければ理解できるか疑問である。人も物も金も何も無しでやれやれと言われても実施部隊は困る。これは推進していかなければいけないのだから、道具を与えなければ、やらない口実になる。行政には最低限のことはやらしてもらわなければ困る。

委員：空き家・空き店舗の活用についてだが、いろいろな物を購入するための支援

は頂いているようだが、学校などの空き教室に関して、行政としてどういう活動をされているのか。開放についてはまだ動いていないのか。

事務局 : 廃校の決定がされると教育委員会から全庁的に使用したい希望の照会がある。資産経営課という、施設を有効活用することを検討する部署があり、学校と共同で動いている。地域福祉課では地域福祉活動の拠点ということで毎年要望している。

委員 : 廃校となると大きい話であり出てこないと思うが、余裕教室などはいろいろな学校にある。それを教育委員会に開放させるという努力をして欲しい。

委員 : 表紙の絵は何を表しているのか。説明の記載が欲しい。

事務局 : 絵は職員が描いたものである。各世代の住民や団体が、一つのつながりになって空に飛翔していくことをイメージしたと聞いている。名前を出すことについて本人が希望しなかったが、絵の表す意図については記載すべきだった。

委員 : 提案だが、推進協委員に対しての出前講座をして行政や民生委員活動の問題点等を直接聞く機会があればと思う。

委員長 : 推進協の時間内ではテーマが決まっているのでできない。出前講座のテーマにより、必要と思われるものがあれば、推進協とは別の時間を設けて実施するのはどうか。また地区部会でも呼んで住民説明等に利用してもらいたい。

最後に委員長から閉会挨拶をし、午後 4 時 0 0 分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。